
魔女になんかならないもん

papiko

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔女になんかならないもん

【Nコード】

N6722J

【作者名】

p a p i k o

【あらすじ】

とある少女のクリスマス

何か知らんけど、魔法学校なるところから召喚状が届いた。
ルカは眉間に皺をよせて、その召喚状を破り捨てた。

「ルカ、また来るわよ。それ」

叔母のマリーは、ため息をつく。

マリーは魔法使いだけれど、魔法局の選民思想的な傾向が気に入らず、人間界に留まっている。

「マリーだって、召喚状破ってたじゃない」

「だって、竜退治のお仕事依頼よ。面倒だわ。そのうちこなくなるからアタシはいいの」

「じゃあ、私だっていいんじゃない」

「入学の召喚状はうっざいわよぉ」

マリーは窓を磨きながら、くすくす笑った。

「一度くらい召喚されてみれば？アタシみたいにあとでやめたっていいのよ？」

ルカはテーブルを拭きながら答えた。

「やめて。私になりたいのは小説家。魔法使いなんて小説のネタよ。ネタが実存してるなんて、私の空想の邪魔だわ。それに・・・」

ルカは手を休めてマリーを見た。

「マリーと暮らすほうがずっと楽しいし、ためになるもの。何せ図書館司書だもの。レファランスは完璧だし、アドバイスは的確。こんなに身近に便利な人がいるのに・・・その本人が嫌がる魔法局なんかいきたくもないわ」

マリーは苦笑した。

「アタシを言い訳にするつもり？ ホントのところはなんなの？」

ルカはうつむいた。

「・・・怖いよ。今だって魔法のような力が使えるわ。それを磨くってことは、人から遠い何かになりそうで、とても怖い。私が好きなのはここでちゃんと人間として生きていくこと・・・父さんも母さんもそれを望んでると思うんだ」

「ルカ・・・」

マリーはそつとルカに歩み寄りぎゅっと抱きしめた。

「そうね。そうじゃなきゃ、アタシにあずけたりしないわ。魔法使いとして生きるとは時として人として逸脱することもある。危険も多い。だから、あのクリスマスの日にあなたをここに預けていた」

「父さんたちは生きてるのかな」

「わからない。でも、約束したでしょ。クリスマスには帰るって」

「きつと帰ってくるよね」

「うんきつと・・・」

マリーはぱつと手を離して、急いでツリーを飾り付けなきゃねと言った。

13年目のクリスマス。

ルカとマリーは四人分の食事を用意して、その日が終わるのをまつた。

雪が降って、世界は静かだった。

ルカとマリーはソファアでぼんやりとテレビを眺めていた。時計の針はもうすぐ十二時になる。

今年も帰ってこないのかな

ルカがそう思ったとき、遠くで雪を踏む音が聞こえた。何か不吉な感じがして、マリーにそつと寄り添った。

そして、チャイムが鳴る。

ルカはびくつと体を震わせた。

「見てくるわ。そこにいなさい」

マリーはすつと玄関へ向った。

扉の開く音と吹雪の音。そして足音がする。

足音はルカの後ろでとまった。

「ただいま」

懐かしい声が頭上からふってきた。懐かしいうでとつめたい頬が、ルカをしっかりと抱きしめていた。

「おかえりなさい」

ルカは振り返り、二人を見た。

父は片腕を失っていた。母は髪の色が真っ白になっていた。

なにがあつたかなんてどうでもいい

ルカはソファーを飛び越えて、二人を抱きしめた。

「もう・・・どこにもいかないで・・・」

ルカは泣きながら懇願した。

「もちろんだ」

「ずっと一緒よ」

13年目のクリスマス。

ルカは最高のプレゼントをもらった。

「さあ、料理をあたためなおしたわよ。マリーさんの手料理食べな
いつもり」

両親とルカは笑った。

ようやく願いが叶ったその日から、ルカの新しい生活が始まった。

マリーと両親がいる生活。

これ以上の望みなんて、ルカにはない。

だから、翌朝も根気よく届いた召喚状を破り捨てた。

< 終
わ
り >

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6722j/>

魔女になんかならないもん

2010年10月14日23時20分発行